

平成 25 年 8 月 吉日

各 位

大塚アグリテクノ株式会社

除草剤「カリュードフロアブル」の新規登録認可のご案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、かねてよりご協力を賜りました除草剤のカリュードフロアブルの農薬登録が平成 25 年 8 月 28 日付けにて認可されましたので、下記のとおりご案内申し上げます。

今後とも、皆様のご指導ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

商品名 : カリュードフロアブル (第 23318 号)
有効成分・% : ピラクロニル・3.6%、ベンゾビスクロン・4.0%、ベンゾフェナップ・14.5%
規格 : 500mL×20 本/ケース

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ヒルムシロ ミスガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北) オモダカ クログワイ (北海道を除く) エゾノサヤカグサ (北海道) コウキヤガラ (北海道) アオミドロ・藻類による 表層はく離 (九州)	移植後 5 日～ ヒエ 2.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	砂壤土～ 埴土	500ml /10a	1 回	原液 湛水 散布	全域の 普通期及び 早期栽培地帯

ピラコニルを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシロンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾフェナップを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内

[使用上の注意事項]

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使い切ること。
- (2) 使用前に容器を軽く振ること。
- (3) 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまで十分な効果を示さないので、有効な後処理剤との組み合わせで使用すること。
- (4) 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深2 cm/日以上)では、薬害を生ずる恐れがあるので使用しないこと。
- (5) 田植え前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、完全に防除してから使用すること。
- (6) 著しい降雨が予想される場合には除草効果が低下する恐れがあるので散布を控えること。
- (7) 本剤は水の出入りを止めて湛水状態で水田全面にゆきわたるように散布すること。本剤散布後、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- (8) 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、クワイなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意すること。
- (9) 本剤が稲体に多量に付着すると薬害が生ずるおそれがあるので、稲体に重複してかからないよう注意すること。
- (10) 移植水稻を栽培した後はいぐさを栽培する水田では使用しないこと。
- (11) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (12) 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないこと。
- (13) 容器等は圃場などに放置せず、適切に処理すること。
- (14) 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (15) 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- (16) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (17) 水産動物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので養魚田では使用しないこと。
- (18) 水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (19) 散布後は水管理に注意すること。
- (20) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

[貯蔵上の注意事項]

直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。

以上